

環境データ

ヤマナカ環境方針

ヤマナカでは、自然環境や貴重な資源を利用して営業活動を行っていることに対して真摯に向き合い、持続可能な環境対策を行うべく、様々な取り組みを行っています。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 社員の環境への貢献意識を高める | 4 家庭ごみの減量に貢献する |
| 2 環境に優しい商品を積極的に販売する | 5 ヤマナカから出るごみの減量に努める |
| 3 環境に優しい資材・備品を購入する | 6 省エネ設備を導入する |

環境データ

◎CO₂総排出量およびエネルギー使用に係る原単位の推移



過去5年度間のエネルギー使用原単位年平均1.0%削減を目標に掲げて取り組みましたが、2018年度は前年度から0.8%の増加となりました。

◎食品廃棄物量および食品リサイクル率の推移



昨年度は新規の食品リサイクル実施店舗の増加によりリサイクル率が増加しましたが、今年度はほぼ横ばいで推移しました。

◎廃棄物量およびリサイクル率の推移



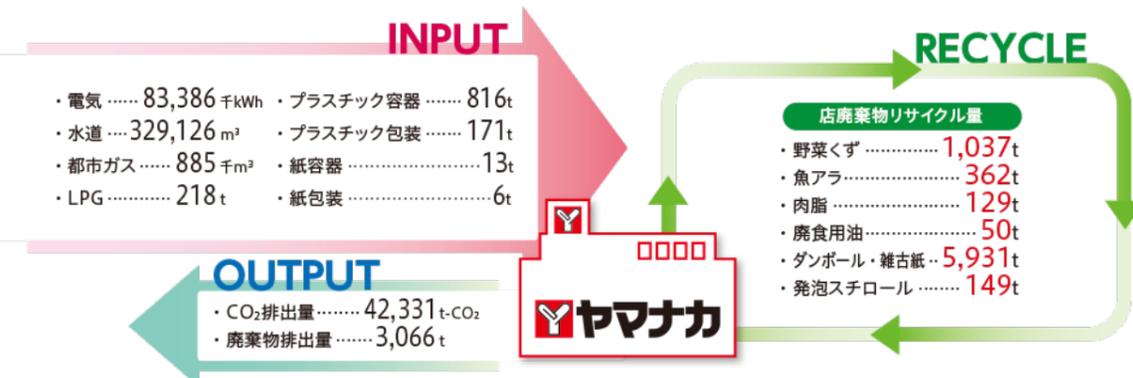
リサイクル、非リサイクルを合わせた廃棄物量は前年度比1.0%減を目標に掲げて取り組みましたが、前年度から4.6%減少しました。

◎レジ袋使用枚数およびレジ袋持参率の推移



店舗の閉店の影響などもあり、レジ袋使用枚数の減少とともに持参率が上昇しました。レジ袋持参率は80.0%以上を目標としています。

事業活動における環境負荷



省エネルギーの取り組み

限りある資源を有効利用するために、当社では省エネルギー活動に積極的に取り組んでいます。

設備面での省エネ

冷蔵・冷凍機器設備の更新

店舗全体の電気使用量の約6割を占める冷蔵・冷凍機設備を、改装店を中心に順次更新し、冷却効率を高めて電気使用量の削減に努めています。更新された設備はコンプレッサのインバーター制御、省エネタイプのファンモーター装備などにより、従来品と比較して大幅に消費電力を削減することができます。



冷却効率の良い冷凍ショーケースの導入

外気の影響を受けにくい、扉付きの内蔵ショーケースを導入し、お客様に開け閉めをご協力頂くことにより、消費電力の軽減を図っています。



店舗照明のLED化

店舗天井照明を、従来型の照明機器からより長寿命・高効率なLED照明へと交換しています。また、天井照明だけでなく、冷蔵オープンケースの棚下照明のLED化も同時に進めています。



社有車をエコカーに

2014年より、業務使用車のエコカーへの変更を順次行っています。2019年3月現在までに、合計64台のエコカーを導入しました。



従業員による省エネ

デマンドコントロール

店舗での電気使用量はリアルタイムで監視され、使用量が目標上限デマンド値を超える場合には、各従業員があらかじめ決めておいた電気機器や照明の電源を落とすなどお客様のお買物や従業員の作業に支障のない範囲で節電対策を実施します。また、日常的に無駄な電気を使わないよう教育を実施しています。



クール・ウォームシェアスポット活動への参加

ヤマナカでは行政の呼びかけで実施されている取り組みに参加し、お客様とともに環境活動を実施しています。また、一部店舗ではお客様がご家庭でエアコンを使用される代わりに店舗で快適に過ごせるよう、クールシェアスポットおよびウォームシェアスポットの提供を続けています。またヤマナカでは5月1日から10月31日をクールビズ実施期間とし、ノーネクタイで業務を実施しています。



■ 廃棄物削減・リサイクルの取り組み

当社では3R (Reduce:発生抑制、Reuse:再使用、Recycle:再資源化)に基づき、地球環境保全に取り組んでいます。

店舗で実施している3R

ノントレー包装の使用

一部店舗では鶏肉をトレーを使わない袋売り形態で販売しています。包装資材の使用の減少や、お客様が持ち帰る際にかさばらないなどの効果が期待できます。



ばら売り販売の実施

ヤマナカでは、お客様に必要な量だけお買い求めいただけるようばら売り販売を推進し、容器使用量の削減や食品ロスの削減に努めています。



小量目商品の充実

家族形態の多様化などに伴い、通常のサイズの惣菜類をご家庭で消費しきれないお客様向けに内容量の少ない小量目商品の品揃えを充実し、ご家庭での食品ロスの削減を図っています。



食品リサイクル

調理の際に発生する野菜くずや魚のアラ、肉脂、廃食用油などは、作業場において分別され、有用な資源として肥料や飼料、油脂としてリサイクルされています。当社では食品廃棄物の有効利用に積極的に取り組んでおり、2018年度は食品廃棄物のうち82.9%をリサイクルしました。



お客様とともに実施するリサイクル活動

リサイクルステーション

家庭から出るペットボトル・アルミ缶・新聞紙などの資源ごみを回収するリサイクルステーションを、一部店舗において設置しています。グラツェカードのポイントに交換できるエコポイントを導入することで、地域のリサイクル活動と地球環境保全活動を推進します。

2018年度リサイクルステーション回収実績

ペットボトル	226t	古紙	2,171t
アルミ缶	72t		



リサイクルステーション設置店舗 (2019年3月時点)

アルテ津新町、新中島フランテ館、松原店、滝ノ水店、白土フランテ館、一宮フランテ館、神守店、三郷店、味美店、共栄店、知多店、東海店、高横須賀店、西尾寄住店、西尾下町店、豊橋フランテ館、二川店、汐田フランテ館、みなと当知店

資源の店頭回収

当社ではお客様とともに環境活動として、各店舗の店頭においてペットボトル、発泡スチロール製トレー、牛乳紙パック、アルミ缶などの資源回収を行っています。回収したペットボトル、発泡スチロール製トレーなどは繊維やトレーの原料などにリサイクルされています。透明トレーの回収も一部店舗で実践しています。また、名古屋市内20店舗では、市と協同でお客様からご家庭の廃食用油を回収させていただいています。

店頭回収資源の推移



※リサイクルステーション回収分も含んでいます。

レジ袋無料配布中止の取り組み

当社では、2007年に名古屋市のモデル事業に参加したのを皮切りに、レジ袋の無料配布中止を進めてきました。2018年3月時点では64店舗が無料配布を中止し、お客様のご協力のもと、レジ袋持参率は84.7%まで上昇しました。なお、有料レジ袋の販売による収益金は全額地域の自治体などに寄付され、環境活動に活用されています。2018年度分は3,710,583円の収益金を寄付いたしました。



寄付先	金額	寄付先	金額
名古屋市2R推進実行委員会	1,690,681円	蒲郡市ふるさと納税応援寄附金	36,173円
安城市レジ袋削減推進協議会	107,105円	元気なごふ応援寄附金	48,360円
鈴鹿市・亀山市レジ袋削減・マイバッグ合同推進会議	28,703円	清須市美化推進協議会	20,104円
一宮市	82,080円	高浜市	96,015円
瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議	43,985円	多治見市	31,980円
尾張旭市緑化推進基金	34,104円	田原市	69,448円
ごみ減量リサイクル推進協議会(四日市市、朝日町、川越町)	47,418円	阿久比町	15,069円
豊田市低炭素社会推進基金	9,998円	知多市緑化基金	142,879円
江南市レジ袋削減推進委員会	36,904円	津市	53,192円
豊橋市環境活動振興基金	412,033円	東海市市民の森づくり基金	151,638円
西尾いきものふれあいの里指定寄付金	122,572円	常滑市	32,850円
大府市緑化基金	58,703円	とよかわ応援寄附金	55,992円
岡崎市	63,755円	碧南市	49,994円
春日井市	127,146円	弥富市	41,702円
		合計	3,710,583円